

平成 26 年度 若林図書館利用者懇談会 実施報告

- 1 日 時 平成 27 年 2 月 25 日（水） 13:30～15:00
- 2 会 場 若林図書館 2 階視聴覚室
- 3 参加者 利用者 6 人（個人利用者 2 人、読み聞かせボランティア、図書修理ボランティア、区内小学校教諭、若林区中央市民センター職員 各 1 人）
職員 4 人（館長・主査・一般書主任・児童書主任）
小学校の先生は急用で 14:10 頃到着した。

4 配布資料

- ・若林図書館概要 ・平成 26 年度仙台市図書館要覧 ・利用案内
- ・としょかんのつかいかた（子ども向け利用案内） ・若林図書館カレンダー
- ・予約ガイド ・インターネットサービス（利用者メニュー）について
- ・レファレンス（調査・相談）サービスのご案内 ・もっと知りたい若林区
- ・本びより ・ひまわりつうしん ・まんまるシアター ・若林図書館だより
- ・BOOK TREE（子どもの本のあんない）

当日追加資料 ・昨年度の利用者懇談会の意見を受けた改善策一覧

・仙台市図書館パスファインダー（テーマ別調べ方案内）No. 1 ～No. 7

*以下は希望者のみご持参いただいた。

- ・あかちゃんの絵本 ・こどものための読書案内「本の森へ」第 1 巻～第 3 巻

5 内容

○図書館の事業概要等説明

館長より、若林図書館の概要（特色として、高齢者や主婦の利用が多い。常設展示として「生き生き家庭応援コーナー」と「シニア向けおすすめ本コーナー」を設置している。）と仙台市図書館運営方針について説明。平成 27 年 4 月から指定管理者制度が導入されることを話した。

主査より平成 25 年度の利用者懇談会での意見を踏まえた改善策について説明を行った。効果が出た項目もあるが、利用者の減少が続いていること、新規利用者が増えないことを課題として挙げた。

○懇談

出席者全員からご意見等をいただき、図書館から説明・回答した。

6 質問・意見・要望

個人利用者の立場から

- ・図書の装備について、必要な情報が背ラベルで隠れないようにすべきである。
- ・本棚に余裕がなく、本が壊れそうである。
- ・仙台市図書館に所蔵していない本を全国の図書館から探して取り寄せてもらったこと（相互貸借サービス）に感謝する。

- ・読書は趣味である。色々配布物を作成して底上げしようとPRする努力は理解できるが、図書館に行けば本があり、無料で貸してくれることを分かっている人も来ない人は来ない。その人達は本を読む趣味がないということなので、仕方ないのではないかな。
- ・母が亡くなったとき葬式の段取りに参考になる本を借りたことがある。必要にせまられて読む本、必要な箇所だけ読む本もある。
- ・利用者が減ると、本の購入予算も減らされるのか。
- ・途中読んだところまでページを折ってしまう利用者がいるので、窓口に自由に持っていける葉を置くとよい。
- ・利用者のマナー違反（本に髪の毛や食べカスを挟む、書き込みや切り抜き）が見られる。
- ・他の図書館ではAVコーナーが縮小され、LDを鑑賞できる図書館が少なくなってしまった。若林図書館のAVコーナーは今後も残るのか心配している。
- ・入口の近くに司書が選んだ特集コーナーの本が展示されており、普段自分では読まないジャンルだが面白い本の発見があり、借りていくこともある。来館の度に展示が変わるので楽しみである。
- ・書庫はどこにあるのか。
- ・人気の本は1年以上待つ。
- ・10冊予約をしても、1冊も順番が回ってこないこともある。
- ・人気のない人の本はいつも本棚に並んでいて無駄にスペースを取っている。好きな作家の本はいつも本棚にない。
- ・若林区民だが、自宅から若林図書館に来るのに交通が大変不便である。今は自転車に乗れず、歩くと40分～50分かかる。薬師堂までバスで来て、そこから歩くと30分かかる。帰りは区役所前を通る直通バスがない。地下鉄東西線ができてルートから外れており、こちらにはメリットがない。薬師堂辺りに分室ができるといいという声がある。区役所に来るバスも土・日はないし、平日でも1日3～4本しかない。
- ・図書館の来館者を増やすには立地条件は大きい。バス1本で行けず、どうやって行くか分からなければ、メディアテークの図書館に行った方がよいということになってしまう。どの図書館でも借りられるし、どの図書館に返してもよいわけだから。
- ・なぜ区役所の駐車場を閉めてしまったのか。区民からすれば同じ仙台市の施設なのに。
- ・これからは本と映画を満喫したい。本を読んで別世界に入れるのは素晴らしい体験である。気持ちの切り替えもできる。
- ・利用者からの無理な要望もあるのではないかな。
- ・映画上映会の洋画は字幕なのか。

図書館から

- ・図書館では、趣味のための本、楽しみのための本もたくさん所蔵しているが、常設展示コーナーにあるような生活の課題解決に役立つ本にも力を入れている。そういった役立つ本の存在をもっとPRして利用増につなげたいと考えている。
- ・図書購入費は毎年同じくらい確保している。資料が乏しくなると魅力も減り、利用者が減ってしまうので、資料費は最も大事にしている。

- ・LDの館内視聴サービスは継続する予定である。他館から保管転換を受けたLDも所蔵している。LDの機器がすべて壊れてしまったら止めざるを得ないかもしれないが、今のところ予備の機器もある。
- ・入口の書架の一方は元々新刊コーナーだったが、貸出手続きをしないで持ち去るケースがあり、新刊はカウンターの近くに移動した。代わりに旬の本、タイムリーな本を展示するコーナーとしている。有名な作家の追悼展示も行っている。もう一方は毎月の新刊案内「本びより」のテーマと連動した本を展示している。テーマに合った閉架書庫の本も出して展示している。
- ・書庫は地下にある。22万冊の蔵書の半分は書庫に保存しているが、書庫も満床になり、除籍も進めなければならない状況である。
- ・100人以上待ちなどの本もある。「予約ガイド」にあるとおり、予約は貸出数と別に10冊までできるので、順番をお待ちいただくことになる。
- ・予約した10冊すべてがベストセラーだと、どれもすぐには準備できないことはある。
- ・人気のある作家は見出しはあるものの、本は並んでいないこともある。
- ・他の区の図書館は地下鉄かJRの駅が近いが、若林図書館は外れてしまっている。
- ・震災後、土・日開放されていた区役所のふるさと広場駐車場が閉鎖され、家族で車を利用し来館していた方が減ってしまった。駐車場の台数も58台と少ないので、同じ有料駐車場なら広い宮城野図書館の方が行きやすいと考えられる。
- ・駐車場は、区役所の駐車場であり、管理上の理由で土・日の開放ができなくなったと聞いている。大きいイベントの際に区役所に申請して入口に係員を立てれば借りることができるが、図書館を開館しながら人を出すことは困難であり、図書館のイベントで駐車場を使用したことはない。
- ・視聴覚資料の予約の点数を増やして欲しいという要望はいただいている。次期システム更新時に合わせて検討することになる。
- ・映画上映会では、字幕入りのものは基本的に字幕上映している。

読み聞かせボランティアから

- ・昨年度はおはなし会の参加者が少なかったとのことだが、色々努力をしていただいたようで、参加者も多く盛況である。図書館に来る子は本が好きなので、読み聞かせをやっていて困ったことはなかった。本離れについては、子どもの数が減っている中で、学校で読み聞かせボランティアを行い、子どものうちから底上げに協力したいと考えている。様々なツールがある時代なので、紙から離れていく子もいるのではないかな。
- ・要望としては、おはなし会の最中にカーテンの外に「ただいまおはなし会（読み聞かせ）をやっています。途中からでもどうぞ。」というような表示を出しておく、入りやすいのではないかな。
- ・子どもの読書離れについて、自分が子どもの頃は、読書感想文の課題に子どもには難しい作家の本が指定されていたり、先生が気に入るような正しい読み方をして感想文を書かないと評価されなかった。あれでは本を読む気になれないと感じた。

- ・今は全国的な読書感想文だと低学年から高学年までそれぞれに指定図書はあるが、それでもいいし自分で選んだ本でもよいとなっている。読書感想文は全校を挙げての課題ではなく、希望者のみとなっている。また、以前と違って難しい作家の本ではないし、感想文の内容が教師の意図とずれていたからといってはねられるということはない。

図書館から

- ・次のおはなし会からおはなしのへやの外に案内を設置する。

本の修理ボランティアから

- ・文庫やコミックなどの修理はあるが、詩集や小説の修理が少なくなっていると感じる。それだけそのようなジャンルの本の利用が減っているということだろうか。200人以上予約待ちをして借りた本『舟を編む』のような小説もあり、ハードな利用に耐えられる状態に保つ必要がある。書き込みやページ破りが以前よりは減り、常識的な利用者が増えているのではないかと感じている。
- ・返却の際、中をチェックできないのか。
- ・近頃は製本が雑になっている。簡素化されている。
- ・厚い本だと背の布地が見えているものがあり、修理に困る。また、文庫本のページ5枚くらいが外れている場合の修理が難しい。差し込んでもはみ出してしまう。

図書館から

- ・修理に回せる本を予め図書館職員が選り分けている。切り抜きがひどいものは、除籍している。
- ・利用者にマナーアップを呼び掛けているが、たまに大事なページが切り取られている事例はある。
- ・CDなどは1枚ずつ裏を確認しているが、本は1人7冊借りられるので、家族全員分を一気に返却されたりすると、すべての本を確認することは困難である。何か挟んである等気付いた場合は開いて確認している。利用者アンケートでも、子どもの本が傷んでいて、自分で（セロテープで）は修理しないでくださいとのことだが、貼らないとページが落ちてしまう本もある。とのご意見を受けた。2度目返却なぞりの際は落ち着いて処理できるので、傷みが目立つ本は中を開いて確認するように努めている。

市民センターから

- ・映画上映会は第3日曜日で固定されて、市民に浸透していると思うが、2月に開催された市民センター最大の行事である「学習発表フェスタ」が図書館の映画上映会と重なってしまった。来年度は3月の第3日曜日なのだが、また重なってしまう。一緒にPRして共存する方法も探りたい。
- ・図書館との共催行事として、「仙台七夕に願いを」では来年度も関連本の展示や読み聞かせなどで協力して実施したい。10月にワカチュウ子どもランドの行事でスタンプラリーをやる場合は、また協力をお願いしたい。
- ・若林区中央市民センターから立ち上がり、主に中央児童館で活動している読み聞かせボ

ランティアの会員が減少しており、会員を増やす意味でも、来年度 6 月、7 月に読み聞かせボランティアの養成講座を開催予定である。その際はぜひ図書館にもチラシやポスターを置いて、PRにご協力いただきたい。

- ・行事等で図書館の視聴覚室をお借りすることがあるので、引き続きお願いしたい。

図書館から

- ・読み聞かせボランティアの養成講座を同じ建物内で開催するという事なので、ぜひ協力したい。
- ・映画上映会は第 3 日曜日を基本としているが、若林区民まつりと重なる 10 月は第 4 日曜日にずらしており、3 月も調整は可能である。

小学校から

- ・小学校図書室は蔵書数に限界があり、若林図書館のお世話になっている。週 2 回の朝の読書タイムと週 1 回の読み聞かせの会に使用する読書パッケージの貸し出しを受けている。
- ・2 年生の公共図書館利用学習でも、見学して使い方を聞いて本を借りる体験でお世話になっている。図書館に来たことのない子もあり、学校の活動の一環として公共施設を利用させていただくのは大変有意義に感じている。書庫など普段見られない所も見せてもらい、子どもたちは感激していた。その後図書館に本を借りに行った子もあり、来年度以降も体験させたい。
- ・4 年生対象のブックトークについては、4 年生担任によると、子どもたちがとてもよく聴いていて、魅力的な活動だとのことである。テーマに沿って紹介された本の続きを読みたくなるとのことであった。テーマに関連する本の貸し出しもあり、子どもたちの読書活動につながっていると感じる。特に要望はないが、これまでどおり子どもの読書活動を豊かにするためにご協力をお願いしたい。
- ・学区的に榴岡図書館の方が近い児童もいる。仙台市図書館どこでも通いやすい所を利用するように伝えていきたい。

図書館から

- ・現在、小・中学校の各新 1 年生向けの図書館案内パンフレットを作成し学校を通して児童・生徒に配布をしている。27 年度は新たに高校の新 1 年生向け図書館案内パンフレットを作成し学校を通して生徒に配布する予定である。